

介護と介護事業を守り、よくする！研修シリーズ

法令や制度が苦手（好きでない）な方へ

マンスリー・ジャーナル

月刊介護ニュースダイジェスト

*Appare Care Service Monthly Journal*



2025

0326

Vol.46

3

天晴れ介護サービス  
総合教育研究所（株）  
代表取締役 榊原宏昌

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

1

## マンスリー・ジャーナルについて

■法令や制度が苦手（好きでない）な方へ

マンスリー・ジャーナル「月刊介護ニュースダイジェスト」

■信じてもらえないかもしれませんが……

私も法令や制度、そして最新情報については  
苦手ですし、あまり好きでないですし、  
正直、あまり興味もないのです（笑）

■ただ、そうも言ってもらえない立場なので……

毎週のメルマガに加えて、毎月話す機会を作ってしまう  
法令や制度、最新情報に触れる機会を作ろうと思って始めたのが  
このマンスリー・ジャーナルです

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

2

# ご受講にあたって

## ■ライブセミナー 21:00~21:45

ご意見/ご感想/ご質問などの**コメント**を是非入れて下さいませ

## ■セミナー後「アーカイブ動画」をご覧頂けます

「PDF資料」は**アンケート**にご回答頂いた方にお送りします

※リーダーズ・プログラム（年会費）、その他該当会員の方は  
ライブラリより、動画・資料をご覧頂けます。

## ■これまでのセミナー動画+資料は、

**一般販売（レンタル）**も行っています（500本超！）

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

3

# 講師プロフィール

- ◎昭和52年、愛知県生まれ 介護福祉士、介護支援専門員
- ◎京都大学経済学部卒業後、平成12年、特別養護老人ホームに介護職として勤務
- ◎社会福祉法人、医療法人にて、生活相談員、グループホーム、居宅ケアマネジャー、有料老人ホーム、小規模多機能等の管理者、新規開設、法人本部の実務に携わる
- ◎15年間の現場経験を経て、平成27年4月「介護現場をよくする研究・活動」を目的に独立
- ◎著書、雑誌連載多数。講演、コンサルティングは年間400回を超える
- ◎ブログ、facebook、毎朝5:55のライブ配信など毎日更新中
- ◎YouTubeや動画ライブラリーでは500本以上の動画を配信
- ◎介護と介護事業を守り、よくする！「事業経営&教育インフラ」  
リーダーズ・プログラム（年会費制）主催
- ◎4児の父、趣味はクラシック音楽、温泉&サウナ、神社仏閣巡り
- ◎天晴れ介護サービス総合教育研究所 <https://www.appare-kaigo.com/> 「天晴れ介護」で検索



- 日本福祉大学 社会福祉総合研修センター 兼任講師
- 全国有料老人ホーム協会 研修委員 ■稲沢市 地域包括支援センター運営協議会委員
- 7つの習慣®実践会 認定ファシリテーター
- 出版実績：中央法規出版、日総研出版、ナツメ社、その他10冊以上
- 平成20年第21回G.Eヘルスケア・エッセイ大賞にてアーリー・ヘルス賞を受賞
- 榊原宏昌メールアドレス sakakibara1024@gmail.com

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

4

# 介護現場をよくする研究・活動



- facebook、ブログ等を毎日更新、情報発信
- 天晴れ介護サービス総合教育研究所YouTubeチャンネル 週1～2回動画配信
- メルマガ（日刊：介護の名言、週刊：介護現場をよくする研究&活動通信）
- 以上の情報はHP（「天晴れ介護」で検索）よりどうぞ

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

5

# 介護現場をよくする研究・活動

## ■ よい介護職はいても、よい介護現場はなかなかない……

- ・ 1人1人がよくなるだけでは、うまくいかない
- ・ チーム、組織、目標、計画、ルール  
リーダーシップ、コミュニケーションなどが必要
- ・ 「介護現場」をよくすることで  
利用者はもちろん、職員も幸せになれる！
- ・ 人と人とお互いに学び合い  
気持ちよく支え合える社会づくり

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

6

# 天晴れ介護サービス「ACGs」！

## APPARE CARE SERVICE GOALS 2023

天晴れ介護サービス  
介護現場をよくする21のテーマ

個別ケア	1 健康管理	2 ADLの自立 重度化予防	3 IADLの 支援	4 認知症 症状の緩和 進行予防	5 社会交流 意欲・楽しみ	6 介護者支援	7 対人 援助職の 基本姿勢	
	事業所運営	8 環境整備	9 接遇・マナー	10 生活の 安定・安全	11 喜び 楽しみ	12 家族・地域	13 事業所の 維持	14 チーム
		法人経営	15 行政対応 地域分析	16 事業 サービス	17 収支	18 人事・組織	19 法令遵守 リスク マネジメント	20 指導 育成 管理

Colored by bridge link plus

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

7

# 著書・雑誌連載

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

8

おかげさまで！

amazon ランキング

★★★  
10部門

1位



介護サービス  
経営の教科書

利用者・職員から選ばれる！

利用者・職員から選ばれる！

介護サービス  
経営の教科書

人を大切にする経営「10」の極意

97%が  
効果を実感！

年間400回超の  
コンサルティングから見えた  
人を大切にする経営「10」の極意

稼働

数字

個別ケア

人材確保

ルール

コミュニ  
ケーション

継続的学習

評価制度

組織・人事

PDCA

## 3月の内容 22トピックス！

- ・ 経営概況調査、訪問サービス「集合住宅型」分けて分析
- ・ 介護事業経営情報報告 今年度分は3月末まで
- ・ 厚労省LIFE説明会、フィードバックの変更点
- ・ 外国人訪問介護4月から開始
- ・ 住宅型有料・サ高住の不適切運営の対策を検討
- ・ 地域全体でBCP強化
- ・ 厚労省「大規模化が絶対ではない」
- ・ 特養、従来型の42%が赤字、福祉医療機構
- ・ 生産性向上、職員とビジョンの共有で段階的に
- ・ 保険外のビジネスモデル確立へ
- ・ 施設のWiFi利用料、徴収可能に
- ・ 利用者からの迷惑行為約8割
- ・ 介護職員の給与、全産業平均との格差が更に拡大
- ・ 看護職・介護職の一斉ストライキ、約600事業所が参加
- ・ 「カッコいい介護」を新たな価値に
- ・ ケアプランデータ連携システム 1年間無料に
- ・ ケアマネジャー関連の動向についてアンケート結果
- ・ TAISコードなどのケアプラン記載
- ・ ケアマネ試験10月12日
- ・ 福井県の介護保険データ
- ・ 認知症希望大使とは
- ・ 転倒予防やめませんか？

# 経営概況調査、訪問系「集合住宅型」分けて分析

## 介護事業経営概況調査 訪問サービス、「集合住宅型」分けて分析

厚生労働省は、今年5月に実施予定の介護事業経営概況調査で、訪問系サービスについて集合住宅などの居住者への提供割合や平均移動時間などを調査項目に加える。2月13日の社会保障審議会介護給付費分科会（分科会長＝田辺国昭・東京大学大学院教授）で提案し、了承された。

介護事業経営概況調査は、介護報酬改定の基礎資料として介護事業者の経営状況をサービス別に国が調査するもの。同じく改定の基礎資料とされる介護事業経営実態調査と比べると調査対象は少ないが、同一事業所に対して報酬改定の前後2年分の経営状況を把握している。

訪問系サービスについては、前回改定の審議でも、「地域展開型と集合住宅併設型とは事業モデルが全く異なる。収支差率も分けて出すべきだ」との声が委員からあがっていた。今回、同省は訪問系サービスの提供実態を踏まえたより詳細な分析を試みるため、訪問先の状況、移動手段や移動時間を把握するための調査項目を追加することとして「どうか」と提案した。

具体的には、①延べ訪問回数にサ高住、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホームが占める割合②職員の主な訪問（移動）手段③1回（件）の訪問にかかった平均的な移動時間——を尋ねる。訪問介護、訪問入浴介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護に加え、居宅介護支援・介護予防支援への調査にも項目を追加する。

同省の提案に対し、委員からは「地域展開型か併設型かを分けて実態が把握できる。大いに評価したい」など賛同の意見が多く、了承された。

### 施設のWi-Fi 利用料 徴収可に

厚生労働省は先ごろ、介護施設などで利用者がインターネットを使う場合、施設がWi-Fi等の通信利用料を徴収できるとする解釈通知を出した。

施設利用者がインターネットやスマートフォンなどの利用が広がっている中、居室などでWi-Fiを利用する利用者が増えている。Wi-Fi利用料を徴収する

シルバー産業新聞 2025年3月10日

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

# 介護事業経営情報報告 今年度分は3月末まで

## 介護事業経営情報報告 今年度分は3月末まで

厚生労働省Q&Aも公表

厚生労働省は11日、介護サービス事業者経営情報今年度内の報告期限が3月末に迫っていることとの周知とともに、報告に関連するQ&Aを介護保険関係団体などに事務連絡した。

経営情報の報告は2024年度から開始。昨年3月末から昨年12月31日に会計年度が終了する事業者については、報告期限が3月末となっている。併せて経営情報の報告制度に関するQ&Aの第4弾も公表。1拠点で2つの事業所を運営し、人員配置基準を満たす範囲でB事業所の職員がA事業所に従事しており、A事業所ではその職員の人員費が発生していない場合は、2事業所を合算した拠点単位で報告するよう求めている。

「ビ」(ノボノルディスクファーマ)は328億円と示された。

松本真人委員(健康保険組合連合会理事)は2つの製品が競合するため、単純な足し算にならないにせよ「日本で30

ヘルパー国賠訴訟、敗訴

ホームヘルパーが低賃金で労働基準法違反の状況で働いていたことが判明し、ヘルパーが国賠訴訟を提起したが、裁判所はヘルパー側の請求を認めず、敗訴した。

シルバー新報 2025年3月21日

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

# 厚労省LIFE説明会、フィードバックの変更点

## フィードバックの変更点を解説

### 厚労省LIFE説明会 事業所の活用事例も

厚生労働省は13日、科学的介護情報システム（LIFE）の令和6年度版フィードバックについての説明会を開催した。

LIFEは、介護施設・事業所のケアプランや利用者の状態などの情報を収集し、集まったデータに基づきフィードバックを提供。ケアの見直しを行うことで、より良いサービス提供につなげる取り組みだ。

2024年度介護報酬改定を受けてフィードバックの見直しが行われ、昨年11月から今年1月にかけて順次提供が開始された。以前はエクセル形式でフィードバックしていたのを、ブラウザ上のLIFE画面で閲覧できる方法に変更。全国で類似した状態の施設・事業所、利用者のデータに絞り込んで閲覧することが可能になった。

また、最大12カ月間のデータを時系列に表示できるように。さまざまな形式のグラフで表示することもできる。

同省は「フィードバックはケアの答えやケアの通知表ではない」と強調。ケアに携わる職員が利用者の状態などについて共通の認識を持ち、改善につなげていく材料として活用することが必要と説明した。

施設・事業所によるフィードバックの活用事例も紹介した。

短期集中リハビリテーション実施加算を算定している老健では、リハビリテーションの職員がフィードバック情報を見て、「利用者の自立度」について、「維持」が9割以上と考える介護職員

シルバー新報 2025年3月21日

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

# 外国人訪問介護4月から開始

## 外国人介護人材の訪問系サービスへの従事 改正の概要等

- 介護職員初任者研修課程等を修了し、介護事業所等での実務経験等（※）を有する技能実習生及び特定技能外国人について、訪問介護等訪問系サービスの業務に従事を認める。その場合、受入事業所は、利用者・家族へ事前に説明を行うとともに、以下の事項を遵守することとする。 ※ 介護事業所等での実務経験が1年以上あることを原則とする

- ① 外国人介護人材に対し、訪問介護等の業務の基本事項等に関する研修を行うこと
- ② 外国人介護人材が訪問介護等の業務に従事する際、一定期間、責任者等が同行する等により必要な訓練を行うこと
- ③ 外国人介護人材に対し、訪問介護等における業務の内容等について丁寧に説明を行いその意向等を確認しつつ、キャリアアップ計画を作成すること
- ④ ハラスメント防止のために相談窓口の設置等の必要な措置を講ずること
- ⑤ 外国人介護人材が訪問介護等の業務に従事する現場において不測の事態が発生した場合等に適切な対応を行うことができるよう、情報通信技術の活用を含めた必要な環境整備を行うこと

- 令和7年4月の施行を予定。

※ 施行日について、技能実習は令和7年4月1日、特定技能は令和7年4月中（予定）

シルバー新報 2025年3月21日

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

## 住宅型有料やサ高住 不適切運営の対策を検討

厚労省 検討会を近く開催

一部の有料老人ホームで入居者に対する過剰な介護サービス提供や、不適切な運営が指摘されて

いる状況を踏まえ、厚生労働省は「有料老人ホームにおける望ましいサービス提供のあり方に関する検討会（仮称）」を設置する。自治体による高齢者の住まいのニーズ把握や、「囲い込み」への対策などを検討する。夏までにとりまとめを行い、制度改正を議論する介護保険部会へ報告する。

明確な運営基準がない住宅型有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅を巡っては、介護サービス事業と一体的に運営し、過剰にサービスを提供する囲い込みの問題や、高額な紹介手数料の設定、同一法人が運営する住宅型有料老人ホームで職員が一言退職し、全入居者が転居を余儀なくされる事案の発生などが問題視されていた。こうした状況を背景に、同省は、老健局長が参集する検討会を立ち上げる。▽有料老人ホームに求められる役割や機能▽入居紹介事業の運営の透明性確保▽届出制で職員配置状況などの確認が難しい状況を踏まえた効果的な指導監督の在り方▽囲い込みへの実効性の高い対策——などを論点に挙げている。

17日に検討会の設置方針を提案された介護保険部会では、介護保険事業

シルバー新報 2025年3月21日

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

## 地域全体でBCPを強化

いざという時の備えを

調布市で合同BCP研修開催

東京都調布市の介護事業者などで組織する介護保険サービス事業者調布連絡協議会（森山典明会長）は2月26日、市内の医師会やケアマネ連絡会

研修は5〜6人ほどのグループに分かれ、午前10時45分に震度6強の地震が起きたという設定のもとで行われた。参加者の職種は、▽看護師▽ケアマネ▽ヘルパー▽介護職員▽リハビリ専門職▽

など12団体合同でBCP研修を行った。法人・事業所の枠を超えた多職種が、不安やその解決策などワークショップ形式で議論した。90人が参加した。

研修の最後には、それぞれのグループで議論した内容を発表。参加した市内のケアマネジャーは「職種が異なれば視点も異なります。こうやって多職種の視点を知ることが、災害時に少しでもうまく立ち回れたらと思います」と話した。

調布BCPネットワークの西田伸一代表は「災害時の不安や不満を、そ



模造紙に書き出して共有した市職員と様々。それぞれ立場や仕事環境が異なるため、出てくる不安やその解決案なども多様だ。真っ先に利用者の安全を心配するヘルパーや、スタッフの安否確認を最優先とする管理者などのほか、インフラを不安

シルバー新報 2025年3月7日

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

## 厚労省「大規模化が絶対ではない」

省会「大規模化が絶対ではない」  
労討  
厚検 介護事業の事業継承でプレゼン

厚生労働省の「2040年に向けたサービス提供体制等のあり方」検討会（座長＝野口晴子・早稲田大政治経済学術院教授）は10日、介護関係者などにヒアリングした。厚労省が事業者の生産性向上の方策として推進している「大規模化・協働化」について、構成員からは、「大規模化がすべての事業者に良いとは限らない」との指摘も挙がった。

同検討会の構成員で、日本クラス税理士法人富山本部長、公認会計士の中村厚氏は、事業継承をテーマにプレゼンテーションした。中村氏は、地方の介護福祉事業の継承では一般的に中小企業と同様の問題が発生していると指摘。重要なのは法人の継承ではなく事業の継承であり、親族外での承継やM&Aなどの方策も選択肢となると説明した。

事業継承の一例として「ダウンサイジング」を紹介。ある法人では3拠点のうち1拠点を廃止し、建て替えの建設負担を回避し、残りの2拠点に介護人材を配置。今後こうした例が増えることと、連携・協働化の選択肢

シルバー新報 2025年2月21日

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

17

## 特養、従来型の42%が赤字、福祉医療機構

※介護のニュースサイトJOINT参照

福祉医療機構は21日、特別養護老人ホームの昨年度（2023年度）の経営状況を明らかにする調査レポートを新たに公表した。特養の赤字施設の割合は従来型で42.1%、ユニット型で31.1%。物価高騰を踏まえた国の支援策で光熱費などの経費率が低下したこともあり、いずれも前年度と比べると改善していた。

福祉医療機構は、「特養の経営状況は依然として厳しい状況が続いている」と分析。特に定員規模の小さい施設ほど厳しいとの認識を示した。この調査は、福祉医療機構が融資先の特養を対象に実施したもの。全国の5456施設を対象に昨年度決算などを分析した。

福祉医療機構はレポートで、赤字施設は利用率や利用者単価、加算の算定率などが低い傾向にあることも指摘。黒字転換に向けた施策としては、「上位区分の加算を積極的に算定して利用者単価を上げること、利用率を維持・向上させることなどが重要」とした。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

18



## 保険外のビジネスモデル確立へ

### 保険外を含む介護関連サービスの類型・具体サービスの例

	高齢者向け	高齢者含む一般層向け
利用者負担のみ	高齢者向け宅食 自費リハビリ 自費訪問介護 見守りサービス 高齢者向け賃貸	フィットネスジム 理美容 宅食 宅配サービス 移動販売 困りごとマッチングサービス
公的負担 + 利用者負担	高齢者向け宅食 生活支援付通所リハ 生活支援付訪問介護	オンデマンド交通 地域見守り事業

シルバー産業新聞 2025年3月10日

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

21

## 施設のWiFi利用料、徴収可能に

### 施設のWi-Fi利用料徴収可に

厚労省は先ごろ、介護施設などで利用者がインターネットを使う場合、施設がWi-Fi等の通信利用料を徴収できるとする解釈通知を出した。

施設利用者がインターネットやスマートフォンなどの利用が広がりつつある中、居室などでWi-Fiなどの利用者向けネット環境を整備する状況を想定し、「その他の日常生活費」に係るQ&Aについて」を改正。

Wi-Fi等の利用料は「サービス提供とは関係のない費用」として、利用者から実費を徴収できると明確化した。

1月には全国老人福祉施設協議会（大山知子会長）が厚労省に対し、Wi-Fi利用料の徴収を明確化するよう求める要望書を提出。

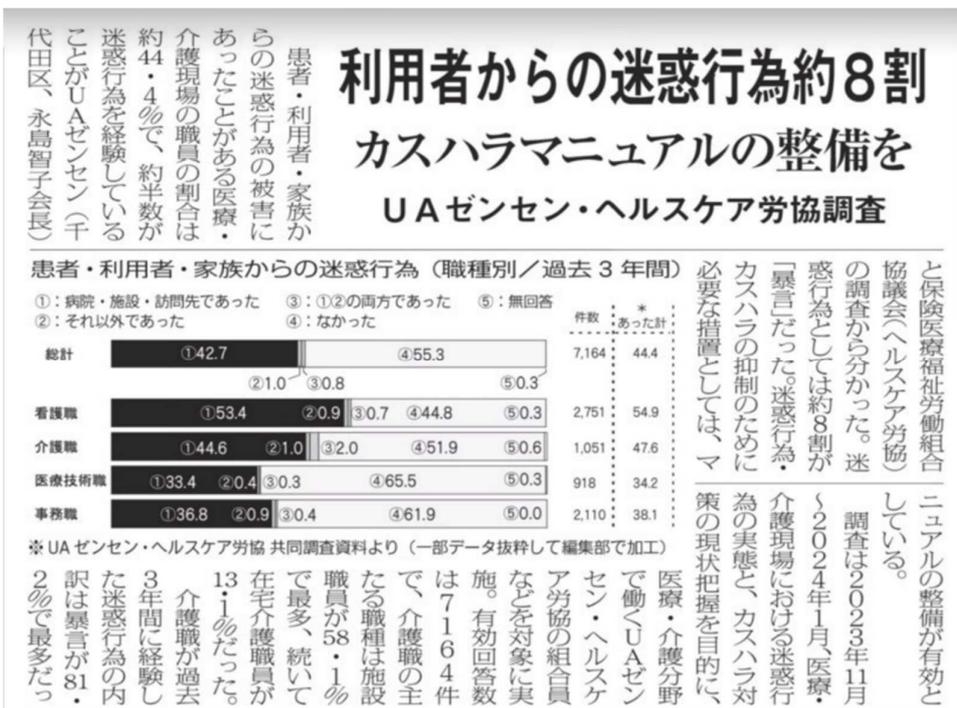
Wi-Fiを提供するには、通信設備の整備に加え、個人情報漏洩などを防ぐためのセキュリティ管理対策なども必要で、それらの費用が持ち出しとなっていることが「施設での利用者向けWi-Fi導入の障壁となっている」と訴えていた。

シルバー産業新聞 2025年3月10日

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

22

# 利用者からの迷惑行為約8割



シルバー新報 2025年3月7日

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

# 介護職員の給与、全産業平均との格差が更に拡大

※介護のニュースサイトJOINT参照

厚生労働省は24日に介護報酬を議論する審議会（社会保障審議会・介護給付費分科会）を開き、介護職員の給与水準の動向を明らかにする調査の最新の結果を報告した。これを受けた委員からは、更なる賃上げを実現する追加的な施策の必要性を訴える声が相次いだ。

厚労省が今月18日に公表した調査結果によると、処遇改善加算を取っている事業所で常勤・月給で働く介護職員の給与（\*）は、昨年9月で平均33万8200円。今年度改定での加算拡充の効果もあり、前年比で1万3960円（4.3%）上昇していた。

\*ここでいう給与は月々の基本給、各種手当、ボーナスなどをすべて合計したもの。ボーナスや一時金が出ている事業所では、4月から9月に支給された総額の6分の1が上乗せされている。税金や保険料が引かれる前の額面で、いわゆる手取りではない。

ただ、事態はむしろ悪化していると言っても過言ではない。厚労省が提示した「賃金構造基本統計調査」のデータによると、昨年全産業平均と介護職員の給与の格差は月8.3万円。他産業で賃上げが進展したことにより、前年の月6.9万円から大幅に拡大していた。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

## 介護職員の給与、全産業平均との格差が更に拡大

※介護のニュースサイトJOINT参照

### ◆「本当に崖っぷち」

「他産業と比べて遜色のない給与水準となるよう、継続的な処遇改善措置を講じてほしい」全国市長会を代表する立場で審議会に出席した大阪府豊中市の長内繁樹市長はこう注文。「介護報酬は2027年度の改定を待たずに、必要な見直しを柔軟に行うべき」と提言した。

全国老人福祉施設協議会の小泉立志副会長は、「昨今のインフレの影響で介護職員の給与は実質的に目減りしており、人材不足が一段と深刻化する要因になっている」と問題を提起。「このままでは今年の春闘で更に給与格差が広がってしまう。事業者単独での対応には限界があり、将来の展望も見出しにくい」と危機感をあらわにし、具体策の検討を促した。

このほか、日本医師会の江澤和彦常任理事は、「介護職員の他産業への流出もみられ、本当に崖っぷちの状況。他産業との差がこれ以上広がれば壊滅的な事態になる」と強調。日本介護支援専門員協会の濱田和則副会長は、「介護支援専門員の処遇改善が必要不可欠。このままだと人材確保は更に困難になる」と訴えた。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

25

## 看護職・介護職の一斉ストライキ約600事業所が参加

※介護のニュースサイトJOINT参照

「やりがい搾取もい加減にして」「このままでは地域の医療・介護が破綻してしまう」会見ではそんな声が紹介された。

医療や介護の現場を支える職員でつくる日本医療労働組合連合会（日本医労連）が、3月13日に全国一斉ストライキを実施する。訴えるのは看護職・介護職らの大幅な賃上げの実現だ。

日本医労連は10日に記者会見を開き、今月7日時点で全国の599事業所が参加を決めたと報告。他産業のように賃上げが進まないなか、物価の高騰や厳しい労働環境もあって現場を離れていく看護職・介護職が後を絶たないとして、ストライキの正当性を強調した。

ストライキは患者や利用者の安全・安心に最大限配慮して行う。例えば短時間に限定したり、一部の職員だけにとどめたり、保安要員を配置したりすることで、サービス停止で危険な状況に陥る人が出ないようにする。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

26

## 看護職・介護職の一斉ストライキ約600事業所が参加

※介護のニュースサイトJOINT参照

日本医労連の米沢哲書記長は会見で、「賃金が上がらず生活が苦しくなり、人が辞めている。このままでは人材不足が加速する」と問題を提起。政府は早急に対策を打つべきだと主張し、「看護職・介護職らの大幅な賃上げは、労働者の暮らしを守ることだけにとどまらず、患者や利用者を支える医療・介護そのものを守ることにもつながる」と理解を求めた。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

27

## 「カッコいい介護」を新たな価値に



### 「カッコいい介護」を新たな価値に

「超高齢社会の介護・医療・予防と、まちづくりのために」をコンセプトにした合同展「ケアショー・ジャパン2025」(2月26日～28日、東京ビッグサイト)での一幕。現役介護職員と利用者が独創的な衣装に身を包んだファッションウォーク「LiNK WALK」が行われた。なかには要介護4の人も。介護職と手を取り、周囲に笑顔で手を振りながらレッドカーペットをゆっくりと進んだ。介護の仕事の魅力発信やブランディングを手がけ、300人以上のアンバサダーが活動する「KAiGO PRIDE」が企画。小口貴幸理事は「1人で歩けなくても、2人なら歩ける。お互いに支え合い、前に進む介護という仕事のカッコ良さを伝えたい」とイベントの主旨を語った。展示会ではこのほか、介護職の写真展も常設した。

シルバー産業新聞 2025年3月10日

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

28

# ケアプランデータ連携システム | 年間無料に

**ケアプランデータ連携システム  
ライセンス料が1年間無料に  
14日にオンライン説明会**

厚生労働省はケアプランデータ連携システムは国保中央会が3月上旬に発表予定。また、同会は14日(金)13時30分~15時にケアプランデータ連携システム導入促進を旨とする。無料トライアルではケアプランデータ連携システムの機能を無料で利用できる。新規申し込みのみならず、更新時からも導入済み事業者も対象となり、更新時から1年間のライセンス料を無料とする。開始時期や詳細は別途お知らせする。

不要。YouTubeで無料配信する(QR)。現在のケアプランデータ連携システムの導入状況は全国で約6割といまだ低調のまま。無料トライアルの実施で、ケアプランデータ連携システムの導入促進を目指す。

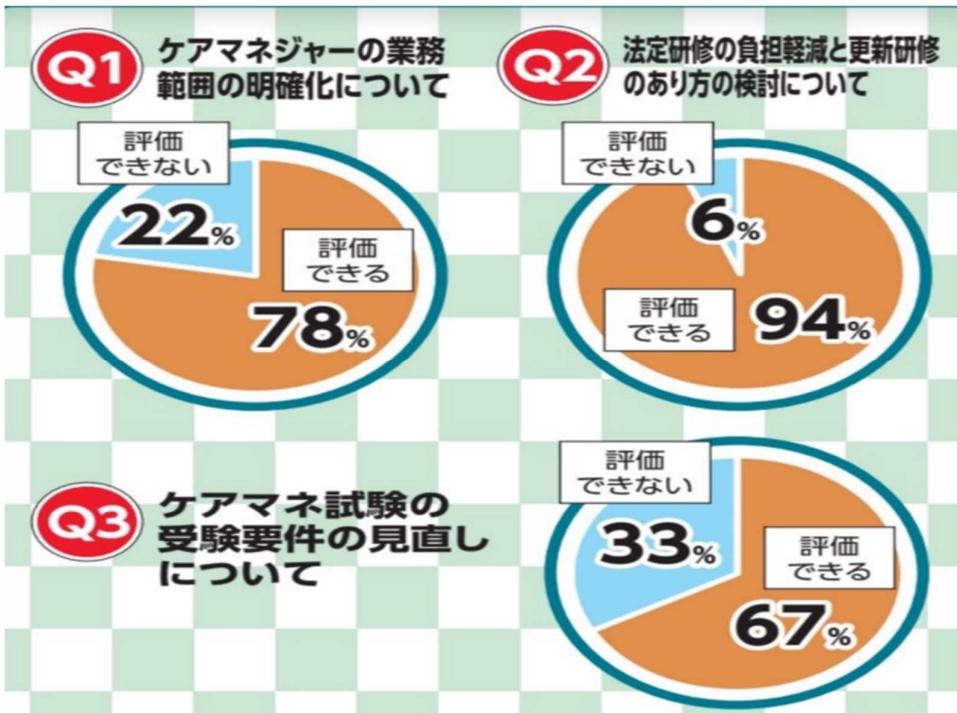
説明会は申込み不要でYouTubeから視聴できる



シルバー産業新聞 2025年3月10日

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

# ケアマネジャー関連の動向についてアンケート結果



シルバー産業新聞 2025年3月10日

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

# Q1

## ケアマネジャーの業務範囲の明確化について

### 評価できる

介護支援業務では、その人にとって様々な問題を解消していかなければ心身の機能低下になることもある。そんなときに、他の機関への相談や関わりができれば、一人で悩むことがないので良いと思う。(大阪府、女性)

業務範囲を明確化し他機関との役割分担を明確にすることは重要。一方、柔軟性を失わない仕組みを設けることも必要。地域特性に応じた対応や例外規定の設定が望まれる。(北海道、男性)

自分の働くサービスによってケアマネに求められるものは異なるが、分類されることで考えやすくなると思う。(宮城県、女性)

Q1・Q2の改善があり、ケアマネの負担軽減がはかれれば人材確保につながる。まずはすでに資格はあるがケアマネ業務をしていない方たちが「ケアマネをしたい」と思えるよう、改善に注力することが必要。(大阪府、男性)

業務の明確化は素晴らしいと思う。しかし分類先から派生して、シャドウワークにつながる可能性を強く感じる。(愛媛県、男性)

### 評価できない

結局すべて調整する窓口はケアマネなので、負担が減ることはない。インフォーマル資源や他の相談窓口も少ないと利用できない。(北海道、女性)

分類しただけでなく、担当というだけでどこまでしないといけないのか明らかにしてほしい。明確なルールがないままで人の善意に頼っていると、シャドウワークが増えているように思う。(大阪府、女性)

インフォーマル資源の活用ができていないから、ケアマネに全て回ってくる状態になっている。これまでできなかったものが今後できるのか不明。(愛媛県、女性)

シャドウワークに加算されれば良いだけ。例えば、マイナカードの手続きや難病の申請を手伝ったら加算。今はタダ働きさせられているだけ。(大阪府、男性)

# Q2

## 法定研修の負担軽減と更新研修のあり方の検討について

### 評価できる

ケアマネの更新研修の見直しはぜひとも取り組んでほしい。可能な限りオンラインでの受講など、負担軽減をはかってほしい。本音としては5年ごとの更新研修ではなく、研修内容の充実と更新期間の延長を希望したい。(愛媛県、女性)

更新研修廃止を支持する。(香川県、女性)

今の法定研修は負担が大きい。できたら更新研修を廃止してほしい。できないならせめてオンデマンド化を進めてほしい。(和歌山県、男性)

更新研修は時間的負担が大きすぎるので、もっと簡略化および内容も充実したものにしてほしい。事例検討でGWの2日もとられるのは、どうにかならないものか。(北海道、女性)

ケアマネのなり手不足を防ぐため、更新研修の大幅負担軽減や実務経験3年程度など検討してほしい。(富山県、女性)

更新研修の負担軽減はいいと思う。研修を受ける時間を利用者のために使うことができる。(和歌山県、男性)

# Q3

## ケアマネ試験の受験要件の見直しについて

### 評価できる

多くの人がチャレンジできる機会があるのはいいことだと思う。(宮城県、女性)

受験資格要件の短縮や新資格の追加は地域包括ケアの推進に必要な不可欠な人材を確保する上で有効。ただ新資格の導入が既存のケアマネと利用者の信頼関係に影響を与えないよう、丁寧な周知と教育が必要と感じる。(北海道、男性)

ケアマネジメント業務は今の実務経験でも全員に十分な基礎があるか疑わしいため、必要な知識を得た人が資格を得られるのであればよい。(大阪府、女性)

### 評価できない

いくら資格を取得しても、それを実務にしようとする人が少ない。ケアマネの業務内容があまりにハードで、処遇にも魅力がない。それらを改善しない限り、実働のケアマネ数増にはつながらないと思う。(山口県、女性)

質より量になってしまう。(富山県、男性)

新たな資格を加えるよりもケアマネジャーになる人の質向上や働きやすさを重視して欲しい。(大阪府、女性)

ケアマネを確保していくためには、報酬を増やさなければ駄目。資格保有者はたくさんいる。合格者を増やせば良いということではない。(宮城県、女性)

受験要件緩和に向けた検討が人材確保につながるのかは不明なため評価しにくい。(和歌山県、女性)

ケアマネの数が足りなくなるから受験要件を緩和するのは理解できない。質の低下につながる。(富山県、女性)

## TAISコードなどのケアプラン記載

厚生労働省は6日、介護サービス計画書の様式の記載方法に関するQ&Aに、福祉用具貸与に関する項目を追加した。同省は今年4月から、ケアプランのサービス利用票第6・7表の様式を変更し、福祉用具レンタルの場合の「用具名称(機種名)」と、福祉用具に附番されている「TAIS・届出コード」の記載欄を追加。ケアマネ事業所とレンタル事業所がケアプランデータ連携標準仕様に対応したCSVファイルでデータ連携を行う場合は、この項目に記載をすることで、介護ソフトが対応していないなどの理由でデータ連携を行わない場合は、当面の間空白にしてよいとしている。

「用具名称(機種名)」欄には具体的な機種名を記載するとしている。

シルバー新報 2025年3月14日

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

33

## ケアマネ試験10月12日

厚生労働省は、第28回介護支援専門員実務研修受講試験を今年10月12日に実施する。合格発表は今年度と同じく11月25日を予定している。

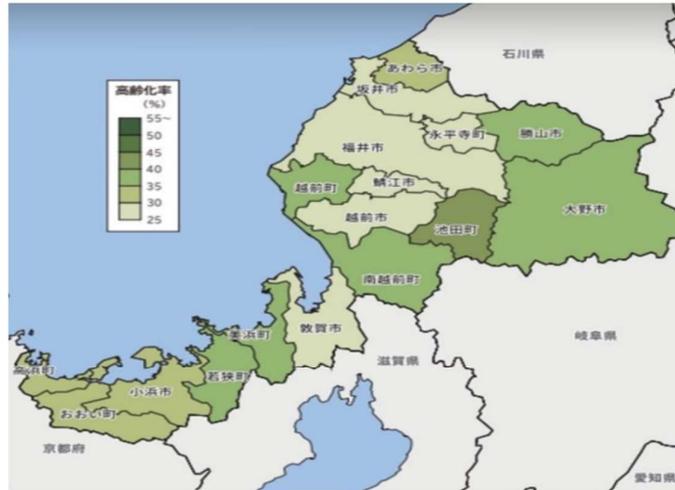
各都道府県による受験申し込みの受け付けは例年通り5〜7月に行う。

シルバー新報 2025年3月14日

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

34

# 福井県の介護保険データ



福井県の介護保険データ		
	2020年(実績)	2040年(推計)
総人口	75.6万人	60.9万人
高齢者人口	23.4万人	22.9万人
高齢化率	30.8%	37.6%
要介護認定者数	4.1万人	4.6万人
認定率	17.5%	20.1%
介護保険料(第9期)	6,223円	

シルバー産業新聞 2025年3月10日

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.



## 一口メモ

### 認知症希望大使

認知症当事者自らで、前を向いて暮らすことができている姿を発信する人たち。厚労省や都道府県が任命する。2019年に取りまとめられた認知症施策推進大綱では「普及啓発・本人発信支援」を認知症施策の柱の1つに位置付けている。

厚労省では、認知症の人本人からの発信の機会が増えるよう7人を希望大使に任命。元看護師で45歳の時に若年性アルツハイマーと診断された女性や、元オリンピック選手で認知症初期の男性などが務めている。国が行う認知症の普及啓発活動への参加・協力、国際的な会合への参加などに取組んでいる。

また、それぞれの地域で暮らす認知症の人と共に普及啓発を進める体制を整備し、発信の機会を拡大することを目的に、都道府県ごとに「地域版希望大使」の設置を進めている。現在、▽北海道▽秋田県▽岩手県▽宮城県▽静岡県▽埼玉県▽東京都▽千葉県▽神奈川県▽群馬県▽岐阜県▽愛知県▽大阪府▽京都府▽兵庫県▽山口県▽徳島県▽愛媛県▽高知県▽長崎県▽佐賀県▽大分県▽熊本県▽鹿児島県▽沖縄県——の25都道府県で希望大使が活躍している。

シルバー産業新聞 2025年3月10日

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.



# マンスリージャーナルについて

## ■法令や制度が苦手（好きでない）な方へ

マンスリー・ジャーナル「月刊介護ニュースダイジェスト」

## ■信じてもらえないかもしれませんが……

私も法令や制度、そして最新情報については  
苦手ですし、あまり好きでないですし、  
正直、あまり興味もないのです（笑）

## ■ただ、そうも言ってもらえない立場なので……

毎週のメルマガに加えて、毎月話す機会を作ってしまう  
法令や制度、最新情報に触れる機会を作ろうと思って始めたのが  
このマンスリー・ジャーナルです

# 継続的な学習の重要性！

## ■成長のために

- ・ ギャップを埋める & 強みを活かす
- ・ 時間とエネルギーをかけた分だけ成長する
- ・ よい情報を浴び続ける、そういう 環境に身を置く
- ・ 成長は螺旋階段、その時々で 受け取るものも違う
- ・ ミラーニューロン効果（思考・行動に影響、時間差で効果!）、感度が高まる
- ・ 知れば知るほど分からないことが増える、知りたいことが増える
- ・ 学びが理想をつくり、理想が学びを生む

## ■メンテナンスのために

- ・ いつも良い状態を保てるとは限らない……。
- ・ 定期的に軌道修正させてくれる、人・環境の存在が必要

## ■自分自身、そしてチームワーク

- ・ シャンパンタワー：自分が満ち足りて、人を満たすことができる
- ・ 研修はチームで参加、普段は話さないことも話す、施設を越えた連携

# 継続的な学習の機会を持つために



## 影響力・インパクト



## 回数・頻度



$$\text{習慣化} = \text{インパクト} \times \text{回数}$$

# 介護現場をよくするライブラリー



# 研修・動画の内容 経営から現場まで500本以上！

- 経営者・経営幹部向けセミナー（20時間相当+α）
- 管理職向けセミナー（20時間相当+α）
- ケアマネジャー向けセミナー（10時間相当+α）
- 全職員向け法定研修シリーズ（10時間相当+α）
- 新人職員向けセミナー（10時間相当）
- 赤本・青本・緑本通読セミナー（20時間相当+α）
- 1日集中講座シリーズ！（30時間相当）  
（稼働率、人材確保、管理職養成、実地指導、ケアマネジメント等）
- 令和3年度介護報酬改定セミナー（10時間相当）
- リーダー、相談援助職のための説明力向上講座（5時間相当）
- 最新情報&トピックス「マンスリー・ジャーナル」（20時間相当）
- 工藤ゆみさんのコミュニケーション力向上講座（20時間相当）
- 進絵美さんの面談スキル向上講座（5時間相当）
- 吉村NSの看護セミナー（5時間相当）
- ケアマネジャー受験対策セミナー（15時間相当）

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

43

## 管理職養成ベーシック2024

### ■毎月1回90分+Q&A（セミナー&後日動画）

1. 管理職の仕事とは～心構えと身につけるべきスキル～
2. 業務の全体像とその管理～何を見て、何を管理するのか？～
3. 「ルール」と「コミュニケーション」でチームを再点検！
4. 「業務の標準化」と信頼性と確実性の高い「教え方の技術」
5. 1対1に強くなる！個別面談（職員を知る）
6. 1対1に強くなる！個別面談（定例面談：メンテナンス編）
7. 1対1に強くなる！個別面談（定例面談：育成・指導編）
8. チームで成長する！「会議」「研修」「情報共有」の具体策
9. 「業務改善」の具体策～作戦と手順、反対意見に立ち向かう～
10. 通常業務を制する！タイムマネジメント
11. 「目標設定・計画立案」と「目標絶対達成」の考え方と技術
12. まとめ ～1年を振り返って～

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

44

# 生産性向上&業務改善

## ■毎月1回90分+Q&A（1年間：セミナー&後日動画）

1. 生産性向上について～全体像を把握して抵抗感を減らす～
2. 生産性向上計画の進め方～業務改善の内容と具体的方法～
3. ①職場環境の整備～5S活動について～
4. ②業務の明確化と役割分担  
～業務全体の流れ、役割分担、テクノロジーの活用～
5. ③手順書の作成～業務の標準化、属人的にしない具体策～
6. 前半を終えて～Q&A、意見交換～
7. ④記録・報告様式の工夫～記録の書き方、タブレット活用～
8. ⑤情報共有の工夫～ノートや朝礼、インカムなどの活用～
9. ⑥OJTの仕組みづくり～教える内容と教え方の技術～
10. ⑦理念・行動指針の徹底～判断基準がわかるようになる～
11. 改めて生産性向上計画の全体像と進め方
12. 全体を終えて～Q&A、意見交換～

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

45

# CM・相談員「質の向上」&「省力化」

## ■毎月1回90分+Q&A ※セミナー&後日動画

1. ケアマネジメントを学び直す必要性について  
介護報酬改定内容、自立支援、尊厳の保持を中心に
2. 課題分析（アセスメント）項目の解説
3. 生活歴・生活習慣の把握と活用／ニーズ抽出と目標設定
4. ケアプラン立案／課題整理総括表
5. サービス担当者会議／モニタリング／支援経過
6. 運営指導とケアプラン点検の基本
7. 運営指導対策その1（運営基準編）
8. 運営指導対策その2（算定基準編）
9. 運営指導対策その3（居宅サービスの活用編）
10. 運営指導対策その4（必要書類整備が標準となる仕組み）
11. 居宅介護支援事業所の管理運営 その1
12. 居宅介護支援事業所の管理運営 その2

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

46

# 専門職の必須科目！ 「コミュニケーション&面談スキル」2025

進さん担当 「面談スキル 場面別実践編！」	工藤さん担当 「コミュニケーションスキル」
5月「採用面接」	6月モチベーションを上げる コミュニケーション
7月「定期面談・相談面談」	8月モチベーションを上げる チームの作り方
9月「評価面談」	10月気を遣いすぎて疲れる人の メンタルケア
11月「利用者・家族からの 苦情対応」	12月介護職の言語化 トレーニング
1月「職場の問題解決 された側/した側」	2月リーダー・管理者のための マインドセット

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

47

「介護と介護事業を守り、よくしたい！」  
「強く、熱いミッションの実現とあたたかい組織づくりに取り組みたい！」  
と、本気で考えの経営者・管理職の皆様にお贈りする！

★天晴れ介護サービス総合教育研究所★  
**創立10周年特別企画！**

10周年企画 第1弾

法定研修についてのお悩み  
「実施できていない」「準備が大変な割に効果がない」  
「職員のモチベーションが上がらない」を一挙に解決！

【募集期間】  
1月20日～2月28日

詳しく知りたい方はQRコードへ

10周年企画 第2弾

介護と介護事業を守り、よくする！  
経営者の右腕となる！中核職員養成講座  
～「強く、熱いミッション」の実現と「あたたかい組織づくりに貢献する～

【募集期間】  
1月20日～3月14日

詳しく知りたい方はQRコードへ

10周年企画 第3弾

天晴れ介護サービスを  
皆さんのPRの場として活用しませんか？

【募集期間】  
1月20日～3月31日

詳しく知りたい方はQRコードへ

Copyright (c) hir

48

介護と介護事業を守り、よくする！  
「学び」「共感」「モチベーション」をもたらす研修シリーズ

創立10周年★特別企画

介護と介護事業を守り、よくする！経営者の右腕となる！

## 中核職員養成講座

- 「強く、熱いミッション」の実現と  
「あたたかい組織づくり」に貢献する！

天晴れ介護サービス総合教育研究所 株式会社  
代表取締役 榊原 宏昌

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

49

## 中核職員養成講座（5月～）

5.28①中核職員とは？管理者との違い、時間軸、経営者と共に

■前編「知識・ノウハウ編」

6.27②事業構造・稼働・サービス

7.29③人材採用・育成・定着

8.29④リスク・財務・法令

9.30⑤組織・仕組み

■後編「人を動かす編」

10.27⑥職員を知る、対話力、傾聴・理解・承認・指導

11.17⑦仕事を任せる、役割分担

■まとめ編「計画作成」

12.19⑧計画作成

1.28⑨発表

2.25⑩フォローアップ

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

50

# 法定研修シリーズ 全35コマ、計18時間！

回	日程	内容
全て、録画で ご覧頂けます！		「虐待・不適切ケア防止」前編・中編・後編
		「身体拘束防止」前編・中編・後編
		「接遇・マナー」前編・中編・後編
		「認知症ケアの基礎知識」前編・中編・後編
		「認知症ケアのアセスメント」 「疾患別ケアの知識」前編・中編・後編
		「認知症ケアBPSD編（拒否、リスクについて）」 「利用者・家族の気持ち」前編・中編・後編

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

51

# 法定研修シリーズ 全35コマ、計18時間！

回	日程	内容
全て、録画で ご覧頂けます！		「倫理・法令遵守」「介護保険の基礎」 「個人情報・プライバシー保護」
		「自立支援・介護予防」「リスクマネジメント」
		「医療連携」「緊急時対応」「記録」
		「ターミナルケア」「褥瘡」「精神的ケア」
		「感染症対策」「災害対策」「BCP」
		「家族支援」「地域連携」「苦情」

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

52

# 受講者さんの感想より

- 一つ一つのテーマを基礎から学べて大変勉強になった
- 基礎だけでなく、法定研修を超えている！と思うくらい深掘りもされていて、新人からベテランまで、全職員に聞かせたい内容だと思った
- 基本が大事だと改めて強く思った
- 職員にこの内容を学んでもらった上で、色々ディスカッションしたい
- 1コマが30分というのも受講しやすいと思った

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

53

## 法定＋新人＋特典

### 新人研修【基礎編】2時間

1. 介護の仕事が必要な背景
2. 利用者の立場になる ～尊厳と自立支援～
3. 介護職の役割と介護保険制度を学ぶ
4. 不適切ケアから学ぶ接遇・マナー
5. 虐待・身体拘束防止、個人情報・プライバシー
6. チームケアの必要性
7. 法令に基づくサービス
8. おわりに

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

### さらに特典として……

- 介護技術マニュアル（非売品）  
チェックリスト60＋動画43本（3時間）！
- 管理職の仕事とは～心構えと身につけるべきスキル～
- 生産性向上について～全体像を把握して抵抗感を減らす～
- ケアマネジメントを学び直す必要性について  
介護報酬改定内容、自立支援、尊厳の保持を中心に
- 毎月のマンスリージャーナル（非売品）  
「月刊介護ニュースダイジェスト」

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

26

### 新人研修【各論編】4時間

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 食事のケア      | 13. 認知症       |
| 2. 睡眠のケア      | 14. コミュニケーション |
| 3. 排泄のケア      | 15. 見守り介助     |
| 4. 入浴のケア      | 16. 余暇活動      |
| 5. 介護職の基本姿勢   | 17. 役割、仕事     |
| 6. 姿勢、移動      | 18. 家族        |
| 7. 様々な生活行為    | 19. 制度        |
| 8. 福祉用具、環境整備  | 20. 記録        |
| 9. 感染症予防      | 21. リスクマネジメント |
| 10. 病気・医療     | 22. ターミナルケア   |
| 11. リハビリテーション | 23. 介護サービスとは？ |
| 12. 緊急時対応     | 24. チーム       |
|               | 25. まとめ       |

Copyright (c) hiromasa sakakibara

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

25

54



# 様々な活用法

1. 単発受講（セミナー＆動画など）
2. 年間の研修計画に入れる（※法人向け）  
事前学習動画としての活用も効果的！階層別／職種別など
3. 【NEW！法人限定】個別テーマパッケージ（月額制）  
管理／ACGs／CM／稼働／人材／コミュニケーション等
4. 【NEW！】根っこを鍛える！（無料！）  
経営者・管理者向け勉強会／7つの習慣勉強会
5. リーダーズ・プログラム（年会費制、3コース）  
セミナー＆動画＆マニュアルのサブスク＋コミュニティ機能  
最上位コースは「個別コンサルティング付き」  
→コミュニティの力、行動＋成果につなげる

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

55

# 介護と介護事業を守り、よくする「事業経営&教育インフラ」 リーダーズ・プログラム！（年会費制）

1. 毎月10～15本の新着セミナー＆QA
2. 経営から現場までを網羅した動画コンテンツ  
2024年10月現在で500本超！ショート動画も好評
3. 毎年のシリーズ企画  
管理職養成、生産性向上、ACGs、医療知識、コミュニケーション  
中核職員養成講座など
4. 各種グループコンサルティング  
Q&A、情報交換、意見交換の機会として  
「知識・情報」を「行動・成果」につなげるために  
月1回QA90分、  
月1回PDCA120分、月1回45分個別コンサルティング

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

56

## スペシャル特典！！！！

1. 週1のご案内メール
2. 各種シート（Excel等）
3. 便利機能満載！会員サイト
4. 介護技術マニュアル（非売品）  
チェックリスト60＋動画43本（3時間）
5. チャットワークグループ参加権
6. 初回30分のスタートアップ面談
7. 月1回のグループコンサルティングに  
社労士さんも参加！（不定期）
8. コース研修参加権（同法人からは2名まで）

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

57

## 介護と介護事業を守り、よくする！ 事業経営&教育インフラ

- 組織図●基準・マニュアル●PDCA●コミュニケーション  
事業経営の仕組み化パッケージ！
- 研修●動画●グループコンサルティング  
基礎の知識・情報から行動・成果を導く教育のベース！

## リーダーズ・プログラム2025

強く、熱いミッションの実現と  
あたたかい組織づくりに貢献します

# 天晴れ介護サービス式教育体系2025

経営層向けエグゼクティブコース 事業計画・事業承継		経営者 勉強会	7つの習慣 実践会		グルコン PDCA 個別コンサル
中核職員養成講座 10カ月コース	稼働率 サービス 改善	人材確保 育成定着	法令遵守 赤本通読	仕組み化 マニュアル 組織図	ワン テーマ 研修 & 最新情報  90分 100コマ 以上
管理職養成 ベーシック 90分12コマ	生産性 業務改善 90分 12コマ	ケアマネ 相談員 90分 12コマ	面談 コミュニケーション 90分 10コマ	介護と 介護事業 を守り よくする! 21テーマ ACGs	
法定研修 (介護職基礎研修) 35コマ18時間	介護技術 マニュアル 60チェックリスト 43本の動画(3H)		介護職 のための 医療知識 90分 30コマ	90分 23コマ	
新人研修6時間 社会人1時間					

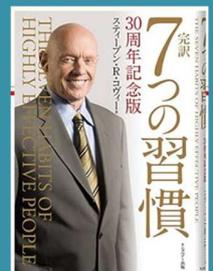
Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

59

## 「7つの習慣」実践会 (2025年予定)

### ■ご参加頂くにあたって

- ・「7つの習慣(完訳版)」の書籍(紙)を用意する
- ・事前に該当箇所を読んでくる
- ・実践会テキスト(4ページ程度)を事前に印刷する
- ・毎回申込制、1回3,000円、6名程度想定、夜19時~22時
- ・zoom開催(カメラ・マイクON、できればPCで)
- ・原則遅刻、早退なしで、終了後にアンケートをお願いします



4月	第1回13日：いざっア外	10月	第7回19日：winwin
5月	第2回11日：7つの習慣	11月	第8回9日：理解に徹し
6月	第3回15日：主体的	12月	第9回14日：理解される
7月	第4回20日：終わり描く	1月	第10回11日：シナジー
8月	第5回17日：最優先事項	2月	第11回8日：刃を研ぐ
9月	第6回21日：相互依存	3月	第12回15日：年間計画

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

60

# こちら是非ご覧くださいませ！

天晴れ介護サービス公式LINEに登録して  
「お得情報」と「特典動画」「限定セミナー」を  
手に入れる！

特典動画は「経営から現場まで！  
介護事業の持続的な成功を実現する3つの取り組み」！

天晴れ介護サービスYouTubeチャンネルに  
登録して「無料動画」で楽しく学習する！

約400本の動画+数分のショート動画もあります！  
気軽に学ぶには最適です！

facebookグループ  
介護と介護事業を守り、よくする！  
1000人の仲間たち\ (^.^) /  
に参加して「毎月の介護ニュース」を見る！

毎月1回、グループ限定で「介護ニュース」を配信中！  
facebookでは毎朝5:55のライブも開催しています

天晴れ介護サービス公式メルマガに登録して  
「最新情報」と「特典動画」を手に入れる！

毎週4,000字の情報+特典動画！  
特典動画は…これから用意しますm(\_\_)m



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

61

# アンケートにご協力お願いします！

マンスリー・ジャーナル2025年

本日はセミナーにご参加頂きありがとうございました！  
アンケートにご回答頂けたらと思います。

メールアドレス\*

有効なメールアドレス

このフォームではメールアドレスが収集されます。 [設定を変更](#)

お名前\*

短文回答

法人名・役職等\*

短文回答

アーカイブ視聴と  
資料請求は  
4月4日まで！

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

62

## マンスリー・ジャーナル

### ■次回は

4月23日（水）21時～

※セミナーカレンダーで

年間予定公開中

**YouTube限定LIVEで開催！**  
**※FBグループ、LINE会員限定！**

## マンスリー・ジャーナル（特集&ニュース）

ご清聴ありがとうございました！  
また次回、ご参加下さいませ(^^)/



天晴れ介護サービス総合教育研究所

榊原 宏昌